

青少年伝承事業

塩田による塩づくり

金沢区役所の青少年育成事業として始めた塩田による塩づくりも、今年で七年目を迎えました。本年は小学校が16校、中学校が2校で、参加総数が47人と過去最高となりました。

7月12日(土)金沢区役所会議室で9時〜10時「塩の



した。塩を煮詰めている間を利用してこれも恒例になったスイカ割りを楽しみ、塩を一人約10㍻宛分配して楽しい塩づくりの体験学習を終りました。

「塩田による塩づくり」は今年は人数が多いので、ミニ塩田を5面つくりました。まさに塩田日和(あまり暑すぎても生徒さんの熱中症が心配)。

スタッフの指導よろしきを得て手際よく、木製熊手で畝作り・海水まき・乾燥を3回繰り返しました。3%の海水が5%に濃縮され砂濾過・仕上げ濾過(柴漁港で頂いた海水で濾過)した海水をバーベキューサイトのコンロで煮詰めた結果、きれいな塩の結晶が出来ました。

作り方」の学習、引続いて「塩の道」を歩きました。このコースの特徴は朝比奈切通しを歩き、三郎の滝を眺めながら一汗入れる爽快感でしょうか。更に光蝕寺まで足を伸ばし、「塩嘗地蔵」を拝観して記念写真を撮り、十二所神社で昼食のあとバスで八景駅へ戻り解散しました。

の努力が必要と実感した。



引き続いて文化協会のNPO法人化のための設立総会が行われ、会員の疑問点等も解消され、満場一致にて設立に向けて行動することが決議された。区からの補助金が無くなった上、NPO法人としてその地歩を更に固めて行くために、今後一層の努力が必要と実感した。

本年の定期総会は、5月25日能見台地区センターで開催された。多数の会員の参加を得て、佐々木事務局長の司会で開会された。

まず、星会長の挨拶があり、次いで来賓は区長の代理として中山課長及び議員団代表の小幡市議会議員よりご祝辞をいただきました。続いて議長選出、書記及び議事録署名名人の選出があり、総会次第に従って議事は進行され、会費見直しや、展示会場の一週間確保等について提案があり、知恵を出して行こうとの意見もあり、議事は順調に進み、全ての案件が承認された。

金沢区文化協会会報



金沢区文化協会
 編集人 野中 建吾
 781-5044
 発行人 星 翠雲
 781-2624
 印刷 幸栄印刷(株)
 716-3366

金沢区文化協会
 平成20年度定期総会

文化講演会「明治・大正時代の金沢区の医療」

平成20年3月2日、80名を越える区民でふくらむ金沢地区センター大会議室を会場に、区制60周年を記念する文化講演会が開かれた。

演題は『明治・大正時代の金沢区の医療』で、「医師が通った往診の道」という副題が添えられた。講師には、金沢区三師会のご好意により、医学博士・松本龍二先生をお迎えすることができた。先生は父祖の地、町屋町に医院を開業され、地域住民の医療に専心されながら医師会の要職も歴任し、平成10年には金沢区医師会50周年記念誌発刊に携わられた。

90分に亘る講演では、ご自身のゆたかな体験はもとより、周到に集められ

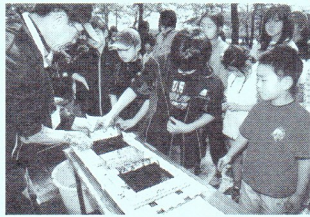
た文書、絵図、記録など詳細多岐に及ぶ資料をスライドにまとめ、ご家族の絶妙な駒送りと相まって、分かり易く興味深いお話をその場に居るかのよう

に伺うことができた。

先生の優しく抑制の利いた語り口が大きな安らぎとなり、往時の里の風物や人々の生活が懐かしく再現され、人力車で受持を往診されるお医者さんと家族ぐるみで心待ちする患者さんとが融け合っているような思いであつた。



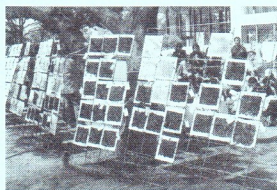
青少年伝承事業 海苔の手作り教室



ながらの手作りによる乾海苔造りを企画、区内の小学生76名が参加して3月21日(日)野島公園で実施した。

生海苔は野島の養殖業者から入手、細かく裁断する。ここからが小学生の作業で、裁断した生海苔を柵でく

いすのこにのせ延ばし、これを鉄製の乾燥用板に掛けて太陽光により自然乾燥させる。乾燥までは数時間を要するので、昼食後「のり教室」や野島山頂からの「金沢地区の歴史・地理教室」に参加、乾燥した海苔は各自持ち帰り、煮込んでいただく。また、前日に生海苔から「海苔の佃煮」を造っていただき、これを参加者に配布した。



金沢では明治16年から養殖が始まった。収穫のピークは昭和47年頃で、金沢地先埋立開始により養殖場が狭められ、昭和53年には収穫量もゼロになった。

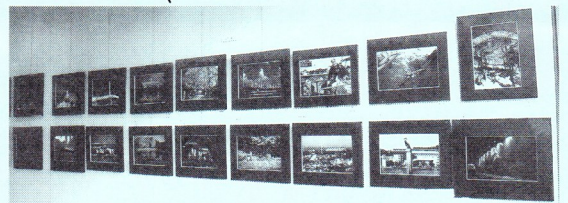
翌年には埋立三号地沖で細々と養殖が再開され、次第に養殖地も広がり、現在は野島の沿岸部と広がっている。しかし、乾海苔の製造は機械化され、手作業による乾海苔造りは見られなくなった。

そこで当協会では、金沢街づくりの会・横濱金澤シティガイド協会との共催で、小学生を対象にして、昔

第13回「わたしたちの金沢」写真展開催

金沢区文化協会主催の「わたしたちの金沢」写真展が、早春の2月19日(火)から26日(火)の8日間、金沢地区センター2階ロビーで開催されました。

展示写真はわたしたちの町・金沢の風景や行事、生活、スナップなど、当文化協会写真部の会員(団体及び個人会員)が撮影した四季おりおりの作品です。



同展は、当協会発足以来毎年恒例で実施され今回で第13回を数えます。ことに今年は金沢区制60周年記念にあたり、金沢再発見“をテーマに、わが町の魅力を伝える新しい視点の作品約60点を展示しました。

会場では来場の皆さんが、写真ならではの新鮮な金沢の風物やユニークな映像に見入るなど熱心に鑑賞され、お陰さまで来場者総数が800人に及び、例年のない盛況となりました。なお会期中、地元テレビ局JCN「デイリー横浜」の取材、放映もあり広くアピールすることができました。

第14回金沢歌謡祭

平成7年金沢区文化協会所属の会としてスタート。当時は歌謡アカデミーと称し歌謡発表会でした。出場者はゲストも含め180名、賑やかなスタート!!

第三回からは年齢別になり一般・シニア(65才以上)・スーパージニア(75才以上)、歌も「懐メロ」が入り、成績上位者はグランプリ部門で無料で歌えるので、参加者のレベルも向上。全国大会でも上位入賞の方が数十名。審査員の先生方は3名。歌謡歴30年以上、審査歴も長くベテラン!!

90才を越えても「イヨマンテの夜」を美声で堂々と歌う方、「大利根月夜」を80才過ぎて素晴らしい衣装で歌い踊る美女。賑やかに楽しいステージが続く、表彰式も、千葉から、御殿場から、小田原から、大宮から、各地の方々が参加。楽しい一日でした。

瀬戸神社奉納演武会

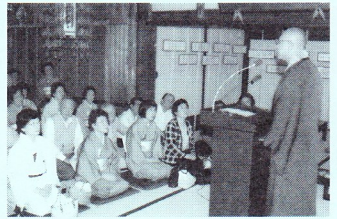
去る5月17日、瀬戸神社で八流派、約50人の剣士が一堂に会し奉納演武会が厳かに行われました。

白刃一閃進取処を異にする一瞬の剣技に見学者は、手に汗を握り、迫真の演武に見入っていた。無想神傳流居合は古く、永禄天正の頃から連綿と継承されている武術。不意の攻撃に対し素早く刀を抜く。

町の繁栄と青少年の善導、更に居合道への理解を深めてもらうため、年一回催しています。紋付袴姿の小学生から80才代(含む外国人)までの幅広い年齢層の人々が演武しました。



龍華寺・講演とお茶会



平成20年5月18日(日)薫風さわやかな空のもと、知足山龍華寺におきまして金沢茶道会主催の講演及び茶会を行いました。朝10時より第一席裏千家席、第二席表千家席、第三席立礼席を準備しました。茶券を購入してくださったお客様に、席入してお菓子と抹茶を召し上がっていただきました。

源頼朝が金沢の地に浄願寺を建立したことが、融弁上人が浄願寺と光徳寺を併合して現在地に龍華寺を創建したこと等、ユーモアを交えたお話で楽しくうかがうことができました。総数294名の方々の参加を受けお蔭様をもちまして、無事終了できましたこと感謝いたしております。

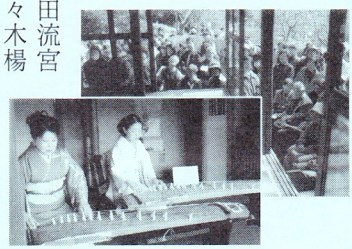


旧川合玉堂邸「二松庵」 琴のしらべと煎茶による野点



平成18年4月から、毎月第一土曜日に開園して以来3年目となります。敷地は2000坪、横浜市指定有形文化財の腕木門と数寄屋造りの母屋、庭は回遊式雑木園庭です。

3月1日の公開日には、琴のしらべを行いました。出演は、琴・佐野史瑞子・佐野純子(生田流宮城宗家直門大師範)、尺八・佐々木楊山(都山流師範)の皆さん、午前午後2回の演奏、曲目は、どこかで春が・早春賦・臘月夜・春の海等、今までにない最多の来園者となり大盛況でした。



5月3日は金沢煎茶茶道会の煎茶道松香庵流・副家元 坂下静雅先生と門下生9名による野点、午前中雨天でしたが、午後曇りとなり、テントから園庭に出て、一煎目く紅谷のお菓子く二煎目を戴き煎茶道を楽しみました。

25周年記念 「ひまわり会」合唱発表会

県立東金沢高校音楽堂施設開放の誘いで始まったひまわり会は、25周年を迎えることが出来ました。この間、県合唱連盟主催ヴィンサン(人生百歳)ジョイントコーラスフェスティバル、金沢区の音楽のつどいへの参加、そして地域の施設等の社会活動にも積極的に参加させていただいています。

この度金沢区文化協会、神奈川県合唱連盟の後援をいただき杉田劇場に於て6月16日に「ひまわり会25周年記念コンサート」を開催させていただきました。

Ⅰ部 ヴィンサンにて
「音楽のつどい」ヴィンサンフェスティバルに出演した際好評を得た曲
Ⅱ部 ファミリーコンサート
ソプラノ独唱の坂本春子さん、会員の息子さんの東隆幸さんの

ギター独奏も大変好評で盛り上げて下さいました
Ⅲ部 青春の追憶
青春時代親しんで来た曲
「心の温かくなる様な素晴らしいコンサートで感動した」また、皆様とご一緒にのコーナーでは「久しぶりにならで歌えて気持ちよかったです」等の声もいただきました。私共もステージに立った時の快い緊張感と歌う喜びに益々盛上がり、詩の心を大切にハーモニイの美しさを目指し、ご指導下さる滝本、森川両先生に感謝を忘れず、「前向人間」百歳まで歌いたいと願いつつ…。



文芸部活動報告

金沢区民俳句大会結果
金沢俳句会では、6月1日、金沢地区センターにおいて、第10回金沢区民俳句大会を開催し、34人の俳句愛好者が集い、当期雑詠を競いました。上位の作品を紹介します。

鎌倉の闇動かして暮鳴けり 北野 一清
少女らの二の腕が行く更衣 大野 素屯
大屋根の反りは唐様夏つばめ 房安 惠英
辿り来し紆余曲折や蟻の道 赤嶋 昌夫
危ふ気に蓮の浮葉の水の玉 田中 十九
まだ何か出来る手と足更衣 瀬戸 貢一
老鶯の吉野これより行者道 佐藤 良二
更衣重ねし齢いとほしむ 川畑 文子
亡き父と擦れ違ひけり夏帽子 青木 邦彦
若葉寒酒を切らしてゐたりけり中野 潤一

金沢区書道協会展

金沢区在住の書家が書道芸術の継承と普及・発展、そして相互の親睦を図ることを目指し流派を超えて結集「金沢区書道協会」を設立しました。

以来、年に一度の会員展も今年で21回記念展、会場は展示場として設備の整っている磯子区民文化センター・ギャラリーで(2月20日、26日)開催しました。

出品数は57点、中には高さ2・4m×90cmのもの、また、180×90cmの大作も10点もあり、伝統的な幽玄をふくむ漢字、流麗なかな書き、また、近代詩文、そして絵画を添えたもの等多彩で、出品者の今の自分をゆたかに表現しているのがとても印象的でした。

会場は華やかな中にも落ち着いた雰囲気、ゆっくり鑑賞することができました。会期を通して664名の多数ご参観いただきました。ありがとうございます。

金沢区民短歌大会結果
金沢区民歌人会では、4月20日、八景コミュニティハウスにて、短歌愛好家38人を集めて「金沢区民短歌大会」を開催しました。上位の方の作品を紹介します。

父母のぬくもり残る杖二本主なき今も 秦 正子
傘立てにあり
梅の香の漂ふ下の躰に薄氷はりて 向後 君子
朝日を反す
旅人の一人となりぬ故里の法事に 阿部 光子
出でむとホテルに着きて

文化協会行事予定 (連絡先) (日程順)

9月28日(日) 金沢地区センター 第16回 金沢児童生徒読書大会	11月3日(祝) 金沢公会堂 金沢区民文化祭参加
10月4日(土) 金沢公会堂 第15回 金沢歌謡祭	11月6日(木) 11日(火) 横濱市民ギャラリー 金沢フォトクラブ「26人の写真展」
10月11日(土) 金沢公会堂 金沢区民文化祭参加	11月20日(木) 24日(月) 能見台地区センター 第5回 金沢区絵画展
10月31回 吟と舞の祭典	11月30日(日) 金沢公会堂 金沢区民文化祭参加
10月12日(日) 八景コミュニティハウス 金沢区民短歌大会	12月10日(金) 日本舞踊連盟公演 第13回金沢区日本舞踊連盟公演
10月15日(水) 19日(日) 金沢地区センター 第20回 金沢区民文化祭・区民の作品展	12月11日(月) 8日(月) 金沢地区センター 写画「夢」「グループ」「夢」「写真展」
10月18日(土) 19日(日) 金沢地区センター 金沢区民文化祭参加 華道展	12月7日(日) 金沢公会堂 金沢区民文化祭参加
10月19日(日) 金沢地区センター 金沢区民文化祭参加 秋季茶会	2月 日() 日() 金沢地区センター 第14回 わたしたちの金沢・写真展
10月19日(日) 金沢公会堂 金沢区民文化祭参加	3月 日() 日() 磯子区民文化センター 第22回金沢区書道協会展
10月26日(日) 富岡並木地区センター 金沢区民俳句(吟行)大会	3月 日() 野島研修センター前 海苔の手づくり教室
10月26日(日) 横浜並木男声合唱団 第6回 定期演奏会	3月中旬() 金沢地区センター 文化講演会
11月1日(土) 金沢公会堂 金沢区制60周年記念「が音さ輪」公演	3月 日() 八景木村邸 観桜会
11月2日(日) 金沢公会堂 歴史講演会「横浜開港 150年と金沢」	「金沢の文化ふれあいセミナー」
(781) 8665	(784) 4192
(782) 6789	(782) 1055
(771) 4723	(784) 4192
(781) 5044	(701) 4964
(784) 1183	(773) 9897
(788) 0988	(771) 6167
(701) 2477	(786) 2790
(773) 9897	(701) 9207
(781) 5044	(701) 2445
(783) 2284	(701) 7495
(783) 5479	(781) 1483

個人会員紹介



写真部 志田 主計
東京オリンピック開催の翌年、昭和40年に私は上大岡から金沢区に転入して来ました。

会社勤めの傍ら、風景写真家の小笠原建夫氏に師事し、風景撮影に没頭。定年退職後は、日本写真家連盟や二科会神奈川支部の会員資格を取得し、個展を行うなど多忙な日々を過ごしております。
現在、六浦・並木・能見台の三地区で楽しさ第一をモットーに、写真クラブの講師として作品づくりのお手伝いをさせて頂いておりますが、これからも地域密着のもと、金沢区民文化祭写真展「や金沢区文化協会主催の」「わたしたちの金沢」写真展など、文化協会の活動に積極的に参加し、微力ながら貢献出来ればと思っております。



器楽部 斎藤 真理恵
幼少より金沢区で育ち、現在はピアノリストとして横浜を中心に広く音楽活動を行っております。ホールでのコンサートその他、ケアプラザ、学校、病院等でも行っております。

音楽を通して多くの方々と心の交流を図る事が私の願いです。身近に親しめる音楽ライブ、洋楽器と和楽器のコラボ、映像を取り入れた音楽劇等、多彩な企画も行っております。ところで「金沢区に文化ホール」という願いが未だに実現されていない事が残念です。金沢区文化協会が「芸術都市金沢」の充実に向けて文化事業を一層充実推進させる一方、文化交流の総合的な場として、文化ホール設立にリーダーシップを発揮し、実現運動を盛り上げてほしいと思っております。

賛助会員紹介

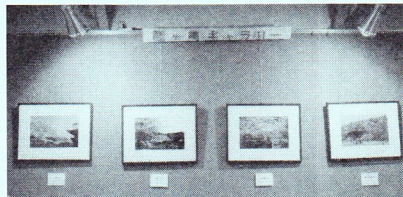


医療法人景翠会 金沢病院グループ
理事長・院長 高山篤也
景翠会の中核である金沢病院は、昭和43年の開設であり今年で40周年を迎えました。その間皆様のご指導、ご支援を頂き、金沢病院グループに発展いたしました。

その理念は開設者の富田裕、元理事長が掲げられた「予防から医療、そして介護への切れ目のないサービス」の提供です。健診事業部では健康診断を通して健康管理を、疾病や怪我の治療は金沢病院で、施設での介護が必要な方には、「こもれび」「ふるさと」の二つの老人保健施設、自宅での療養を望まれる方には在宅事業部「けいすいケアセンター」というように、一貫して人と関わってまいりました。今後もこの基本路線は変わることなく、常に社会のニーズを見極め健康、医療、福祉を一体化したサービスで、地域に貢献していく所存ですのでよろしくご指導の程お願い申し上げます。

区民活動センターの花席と君ヶ崎ギャラリーの近況

金沢区役所内に、昨年10月オープンした、区民活動センターの入り口に設置されている花席(陳列ケース)は、開所式に金沢区文化協会が展示コーナーを含め飾付けを担当しました。その後、金沢区登録の「街の先生」と一ヶ月毎に交代展示を行っています。当協会は、偶数月を受持ち華道・絵画・書道・写真の4部門で1・2週間展示を担当し、本年度未までの展示日程が決まり準備を進めていきます。



また、君ヶ崎交差点の旧道入口にある横浜金沢文庫郵便局内に「君ヶ崎ギャラリー」があります。金沢区の民間ギャラリーの先駆けとして、金沢区の支持と金沢区文化協会の後援を受け、2週間単位で近隣区民の作品や当協会の作品等を無料で展示を行い、6月で60回目の作品展示を行いました。皆様のご来館ご鑑賞をお待ちしております。

編集後記

掲載原稿を依頼した各部門とも、自部門の行事紹介とあって原稿の制限文字数を上回る原稿量で、編集部と印刷業者との調整に苦労するほどで、喜ばしい限りです。今後も原稿依頼された皆様にはご協力をよろしくお願い致します。

編集委員

- 一之瀬 炯次 氏家 総子 小櫃 健一
 - 後藤 政也 佐野史 瑞子 白井 俊一
 - 鈴木 稔 野中 建吾 森川 淳子
- (五十音順)